

はじめに.....	1
リムーバブル・ストレージ・デバイスの実装	1
Windows 版の NVBU サーバ.....	1
Windows でデバイスを NVBU に追加する	1
Windows で新規カートリッジまたはリムーバブル・メディアを追加する.....	4
Windows でオフライン・メディアからバックアップをリストアする.....	6
Linux 版の NVBU サーバ	6
Linux でデバイスを NVBU に追加する	6
Linux で新規カートリッジまたはリムーバブル・メディアを追加する	8
Linux でオフライン・メディアからバックアップをリストアする	10
トラブルシューティング	10
Removable Storage Virtual Drive Creation Utility の実行が失敗する現象	10
ユーティリティの実行後、NVBU 仮想単体ドライブがオンラインで使用できない現象	11
NVBU の VTL 容量がライセンス容量を超過した場合.....	11
Removable Storage Virtual Drive Creation Utility の例	11
Windows バッチ・ファイルの例	12
Linux シェル・スクリプトの例	13

はじめに

リムーバブル・ディスク・メディア(記憶装置)は、テープ・ベースで行うバックアップの簡単な使い易さと、ハード・ドライブの高速性と柔軟性を兼ね備えています。コンパクトで携帯性に優れた内蔵または外付けのドライブに、精巧なポケット・サイズのカートリッジを使用します。各カートリッジは堅牢な小型ハードディスクで、コンピュータにより自動的に認識されるだけでなく、即時にアクセスすることができ、ドラック・アンド・ドロップの操作で簡単に制御することが可能です。カートリッジの容量が一杯になった場合は、新しいカートリッジを挿入します。

本ガイドは、NetVault Backup(NVBU)を使用している環境でデータ保護を行う際に、バックアップ対象メディアとしてリムーバブル・ハードディスク・ドライブ(HDD)のテクノロジーを使用する場合のベスト・プラクティスについて説明します。

リムーバブル・ストレージ・デバイスの実装

通常、シングルの NetVault Backup 仮想単体ドライブのホストには、任意のリムーバブル HDD を使用することができます。Linux 版の NVBU サーバ環境でリムーバブル・ストレージ・デバイスに仮想単体ドライブを作成する場合、物理データやメディア・カートリッジの容量によっては、かなりの時間がかかります。これに対して、Windows 版の NVBU サーバ環境での仮想単体ドライブの作成は、Linux 版の NVBU サーバ環境と比較して短時間で行うことができます。

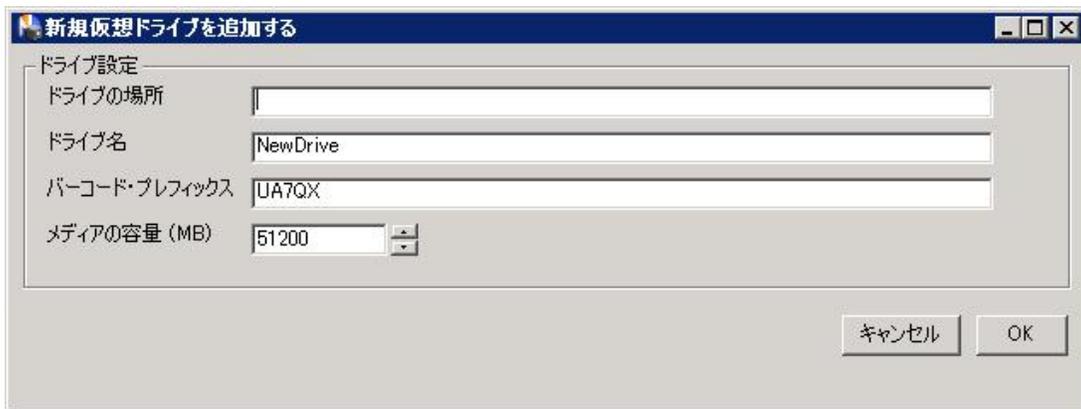
リムーバブル・メディアに NVBU 仮想単体ドライブを作成する場合は、標準の手順に従って NVBU コンソールで行います。ただし、リムーバブル・メディアの置換や再挿入には、特定の手順が必要となり、制限もあります。

Windows 版の NVBU サーバ

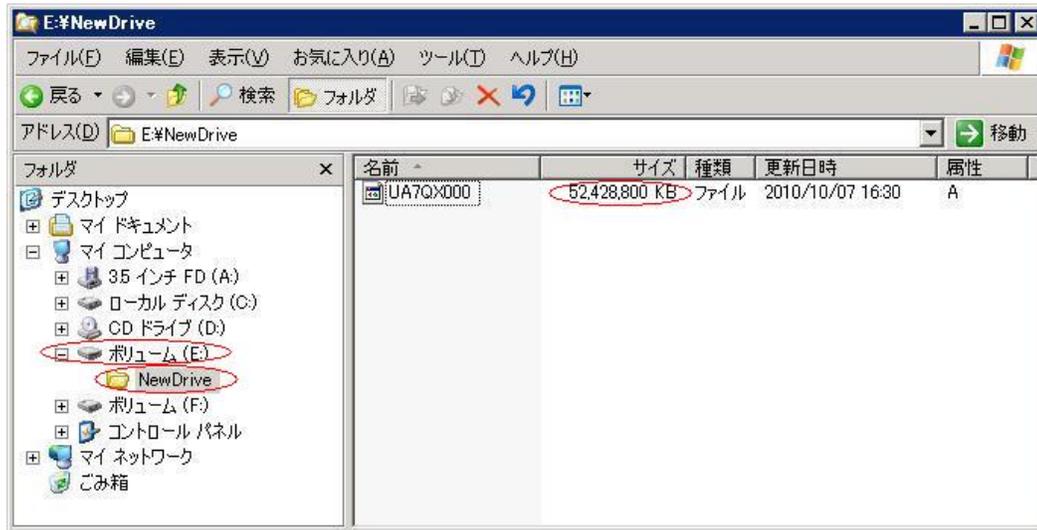
Windows でデバイスを NVBU に追加する

以下の手順は、Windows オペレーティング・システムで既に設定と認識が行われた後、リムーバブル・ストレージ・デバイスに NVBU 仮想単体ドライブを作成する概要を示します。

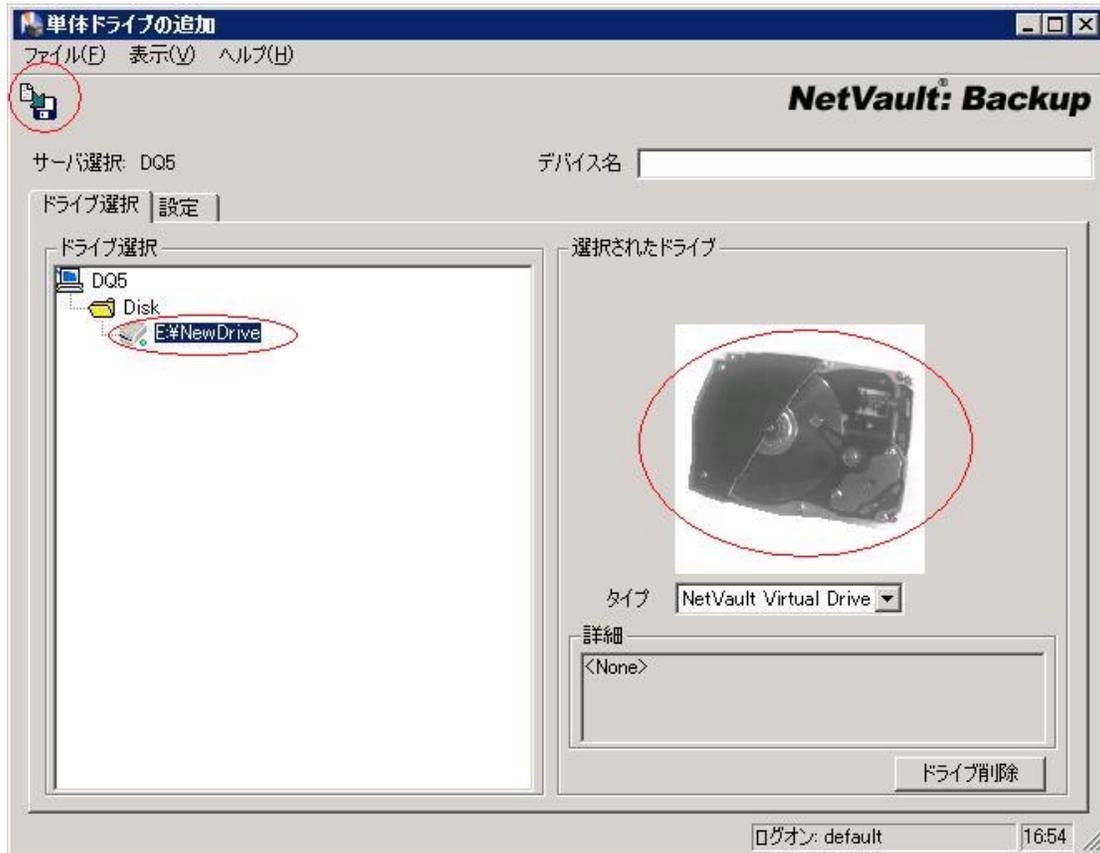
1. リムーバブル・ストレージ・デバイスの設定後、物理データ・メディアやカートリッジをロードします。**Windows エクスプローラ**を使用して、追加する場所やドライブ・レターを決定し、リムーバブル・ストレージ・デバイスのメディア容量を確認します。
2. **NVBU コンソール**で、ツールバーまたは[大きなボタン]パネルの[デバイス管理]をクリックして、[デバイス管理]ウィンドウを表示させます。または、[管理]メニューで、[デバイス管理]をクリックします。
3. [追加]メニューで、[単体ドライブの追加]をクリックして[単体ドライブの追加]ウィンドウを表示させます。
4. [ドライブ選択]タブの[ドライブ選択]で、ターゲット・マシンを右クリックして[仮想ドライブの作成]を選択します。
5. [新規仮想ドライブを追加する]ウィンドウで、以下のパラメータを設定します。



- [ドライブの場所] – リムーバブル・ストレージ・デバイスのパスを入力します。
 - [ドライブ名] – 仮想単体ドライブの一意名を入力します。デフォルトで、**NewDrive** という名前が割り当てられます。
 - [バーコード・プレフィックス] – 各単体ドライブに、識別に使用し、ドライブが使用するメディアに割り当てられるバーコード・プレフィックスが生成されます。これは必要に応じて変更できます。ただし、各ドライブに一意コードを割り当てるようにしてください。
 - [メディアの容量 (MB)] – メディア・サイズを MB 単位で入力または選択します。リムーバブル・データ・カートリッジの容量を超えないように注意してください。
6. [OK]を選択し、リムーバブル・ストレージ・デバイスに仮想単体ドライブの作成を開始します。メディア・サイズに応じて、このプロセスの完了には数分かかることがあります。プロセスが完了すると、メッセージが表示されます。[OK]をクリックしてダイアログを閉じます。
 7. **Windows エクスプローラ**で、新規に作成された NVBU 仮想単体ドライブの名前が付いているフォルダと手順 5 で指定した[メディアの容量 (MB)]の大きさに一致する NVBU メディア・ファイルが、リムーバブル・ストレージ・デバイスの下に存在することを確認します。



8. NVBU コンソールで、ツールバーまたは[大きなボタン]パネルの[デバイス管理] をクリックして、[NVBU デバイス管理] ウィンドウを表示させます。または、[管理]メニューで、[デバイス管理]をクリックします。
9. [追加]メニューで、[単体ドライブの追加]をクリックして[単体ドライブの追加]ウィンドウを表示させます。
10. [ドライブ選択]タブの[ドライブ選択]で、デバイスが接続されているサーバまたはクライアント・ノードを開きます(ノードをダブルクリックまたは右クリックして、[開く]を選択)。
11. 仮想単体ドライブをダブルクリックまたは右クリックして、[選択]を選択し、[選択されたドライブ]にドライブの写真、タイプ、詳細を表示します。
12. ツールバーで[詳細の保存]をクリックします。デバイスが追加され、[デバイス]タブにリスト表示されます。デバイスが初期化されると、ステータスがオンラインに変わります。



13. [デバイス]タブで、仮想単体ドライブを右クリックし、[プロパティ]を選択してメディアにラベル付けを行います。[メディア・プロパティ]ウィンドウが表示されます。
14. 以下のパラメータを設定します。

- [メディア・ラベル] – NVBU では、メディアの 2 つのデフォルト・ラベルである、メディア・バーコードとシステム生成文字列 (NVBU サーバ名、日付、およびシード番号) を提供しています。これらの 1 つをメディア・ラベルとして割り当てるには、[メディア・ラベル] リストからこれらのいずれか 1 つを選択します。ユーザ定義ラベルを割り当てるには、ボックス内に文字列を入力します。

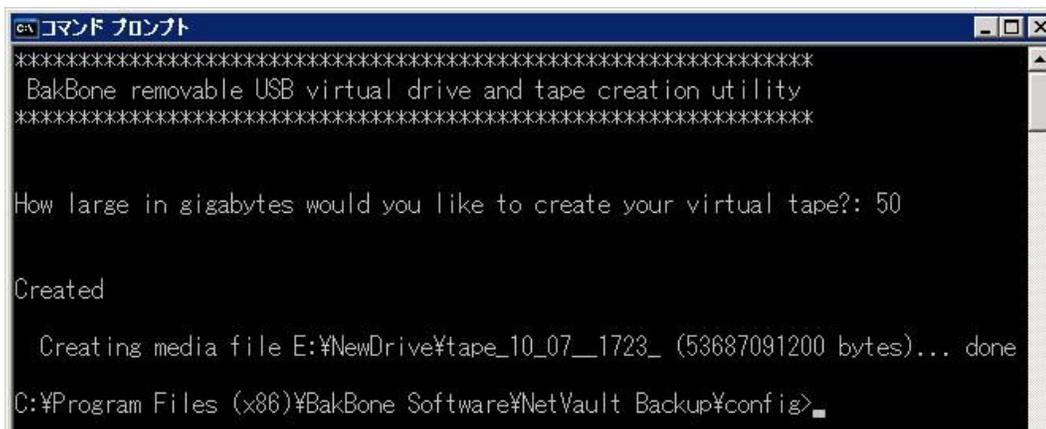
詳しくは、http://www.bakbone.co.jp/support/product_documentation.html からアクセスできる『NetVault Backup アドミニストレーターズ・ガイド』の「仮想単体ドライブ」のセクションを参照してください。

Windowsで新規カートリッジまたはリムーバブル・メディアを追加する

NVBU 仮想単体ドライブが設定されて仮想メディアがすべて使用済みの状態になると、新規のリムーバブル・ストレージ・メディアに別の仮想メディアを作成する必要性が出てくる場合があります。別の仮想メディアを作成するには、使用する新規の物理メディア (リムーバブル HDD) を初期化する必要があります。新規の物理メディアを初期化するには、以下の手順を実行します。

1. リムーバブル・ストレージ・メディアを交換する前に、仮想単体ドライブをオフラインにします。NVBU コンソールで、ツールバーまたは [大きなボタン] パネルの [デバイス管理] をクリックして、[NVBU デバイス管理] ウィンドウを表示させます。または、[管理] メニューで、[デバイス管理] をクリックします。

2. [デバイス]タブで、仮想単体ドライブを右クリックして[オフライン]を選択します。
3. 仮想単体ドライブがオフラインになった後、物理的にリムーバブル・デバイスをアンロードし、新規の物理メディアを挿入します。
4. 新規の物理メディアがリムーバブル・ストレージ・デバイスに挿入されて Windows で認識された後、**Windows エクスプローラ**で、NVBU 仮想単体ドライブの名前が付いているフォルダと NVBU メディア・ファイルが、リムーバブル・ストレージ・デバイスの下に**存在しない**ことを確認します。
5. 「[Removable Storage Virtual Drive Creation Utilityの例](#)」に記載されているスクリプト例を使用して、Removable Storage Virtual Drive Creation Utilityを作成します。
6. Removable Storage Virtual Drive Creation Utility を NVBU サーバの config ディレクトリ (...\\NetVault Backup\\config)にコピーし、バッチ・ファイルを実行します。



```

C:\> コマンド プロンプト
*****
BakBone removable USB virtual drive and tape creation utility
*****

How large in gigabytes would you like to create your virtual tape?: 50

Created

Creating media file E:\NewDrive\tape_10_07_1723_ (53687091200 bytes)... done
C:\Program Files (x86)\BakBone Software\NetVault Backup\config>

```

- **Windows エクスプローラ**を使用して、このスクリプトにより、リムーバブル・ストレージ・デバイスの下に仮想単体ドライブの[メディアの容量(MB)]に一致する NVBU メディア・ファイルが作成されたことを確認してください。新規のメディア・ファイルは、以下の形式です。
`tape_<month>_<day>_<year>_<time>`
7. NVBU コンソールで、ツールバーまたは[大きなボタン]パネルの[デバイス管理] をクリックして、[NVBU デバイス管理] ウィンドウを表示させます。または、[管理]メニューで、[デバイス管理]をクリックします。
 8. [デバイス]タブで、仮想単体ドライブを右クリックして[オンライン]を選択します。ドライブはブランク・メディアがロードされていることを示します。
 9. 仮想単体ドライブを右クリックし、[プロパティ]を選択してメディアにラベル付けを行います。[メディア・プロパティ]ウィンドウが表示されます。
 10. 以下のパラメータを設定します。
 - [メディア・ラベル] – NVBU では、メディアの 2 つのデフォルト・ラベルである、メディア・バーコードとシステム生成文字列 (NVBU サーバ名、日付、およびシード番号)を提供しています。これらの 1 つをメディア・ラベルとして割り当てるには、[メディア・ラベル]リストからこれらのいずれか 1 つを選択します。ユーザ定義ラベルを割り当てるには、ボックス内に文字列を入力します。

Windowsでオフライン・メディアからバックアップをリストアする

オフライン・メディアからバックアップをリストアするには、以下の手順を実行します。

1. 現在のリムーバブル・ストレージ・メディアをオフライン・メディアに交換する前に、仮想単体ドライブをオフラインにします。NVBU コンソールで、ツールバーまたは[大きなボタン]パネルの[デバイス管理]をクリックして、[NVBU デバイス管理] ウィンドウを表示させます。または、[管理]メニューで、[デバイス管理]をクリックします。
2. [デバイス]タブで、仮想単体ドライブを右クリックして[オフライン]を選択します。
3. 仮想単体ドライブがオフラインになった後、物理的に現在のリムーバブル・デバイスをアンロードし、リストアするバックアップが保存されているオフラインの物理メディアを挿入します。
4. [デバイス]タブで、仮想単体ドライブを右クリックして[オンライン]を選択します。ドライブはリストアするバックアップが保存されているメディアがロードされていることを示します。
5. [デバイス]タブで、仮想単体ドライブを右クリックして[チェック]を選択します。
6. 物理メディアがロードされた後、[デバイス管理]ウィンドウで、[メディア・ラベル]を有効にした正しい物理メディアが期待どおりにロードされたことを確認します。[メディア・ラベル]は、[デバイス]タブの仮想単体ドライブの隣りに表示されます。
7. 場合によっては、メディアをスキャンする必要があります。スキャンが必要な場合は、[デバイス]タブで、仮想単体ドライブを右クリックして[スキャン]を選択します。

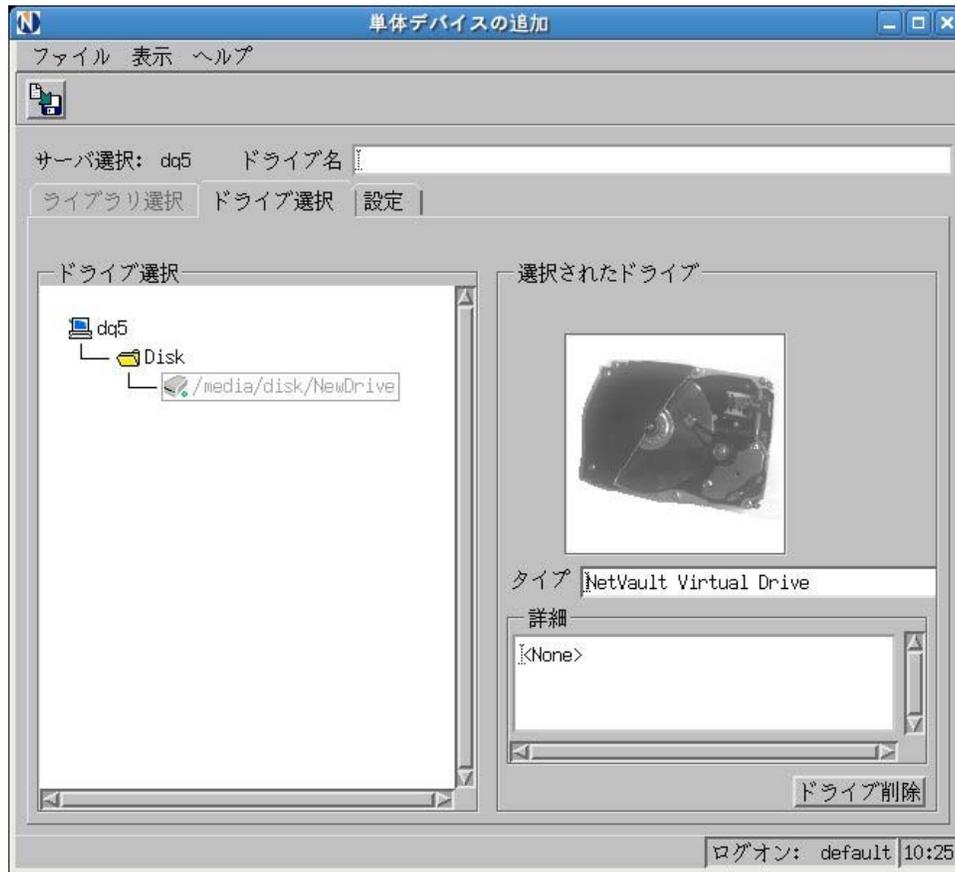
Linux 版のNVBUサーバ

LinuxでデバイスをNVBUに追加する

以下の手順は、Linux オペレーティング・システムで既に設定と認識が行われた後、リムーバブル・ストレージ・デバイスに NVBU 仮想単体ドライブを作成する概要を示します。

1. 物理データ・メディアやカートリッジをリムーバブル・ストレージ・デバイスにロードします。
2. 物理データ・メディアやカートリッジを初めて使用する場合は、以下の手順を実行します。
 - a. **Linux ターミナル・セッション**を起動し、**fdisk** などのコマンドを使用して物理データ・メディアやカートリッジ・ドライブを初期化します。
 - b. **makefs** などのコマンドを使用して Linux でマウントする場合に適切な物理データ・メディアやカートリッジ・ドライブに、Linux ファイル・システムを作成します。
3. **Linux ターミナル・セッション**を起動し、**mount** などのコマンドを使用して物理データ・メディアやカートリッジをマウントします。
4. **NVBU コンソール**で、ツールバーまたは[大きなボタン]パネルの[デバイス管理]をクリックして、[NVBU デバイス管理]ウィンドウを表示させます。または、[管理]メニューで、[デバイス管理]をクリックします。
5. [追加]メニューで、[単体デバイスの追加]をクリックして[単体デバイスの追加]ウィンドウを表示させます。
6. [ドライブ選択]タブの[ドライブ選択]で、ターゲット・マシンを右クリックして[仮想ドライブの作成]を選択します。
7. [新規仮想ドライブを追加する]ウィンドウで、以下のパラメータを設定します。
 - [ドライブの場所] – リムーバブル・ストレージ・デバイスのパスを入力します。

- **[ドライブ名]** – 仮想単体ドライブの一意名を入力します。デフォルトで、**NewDrive** という名前が割り当てられます。
 - **[バーコード・プレフィックス]** – 各単体ドライブに、識別に使用し、ドライブが使用するメディアに割り当てられるバーコード・プレフィックスが生成されます。これは必要に応じて変更できます。ただし、各ドライブに一意コードを割り当てるようにしてください。
 - **[メディアの容量(MB)]** – メディア・サイズを MB 単位で入力または選択します。リムーバブル・データ・カートリッジの容量を超えないように注意してください。
8. **[OK]** を選択し、リムーバブル・ストレージ・デバイスに仮想単体ドライブの作成を開始します。メディア・サイズに応じて、このプロセスの完了には数分かかることがあります。プロセスが完了すると、メッセージが表示されます。**[OK]** をクリックしてダイアログを閉じます。
 9. **Linux ターミナル・セッション** を起動し、**ls** コマンドを使用して、新規に作成された NVBU 仮想単体ドライブの名前が付いているフォルダと手順 8 で指定した **[メディアの容量(MB)]** の大きさに一致する NVBU メディア・ファイルが、リムーバブル・ストレージ・デバイスの下に存在することを確認します。
 10. NVBU コンソールで、ツールバーまたは **[大きなボタン]** パネルの **[デバイス管理]** をクリックして、**[NVBU デバイス管理]** ウィンドウを表示させます。または、**[管理]** メニューで、**[デバイス管理]** をクリックします。
 11. **[追加]** メニューで、**[単体デバイスの追加]** をクリックして **[単体デバイスの追加]** ウィンドウを表示させます。
 12. **[ドライブ選択]** タブの **[ドライブ選択]** で、デバイスが接続されているサーバまたはクライアント・ノードを開きます (ノードをダブルクリックまたは右クリックして、**[開く]** を選択)。
 13. 仮想単体ドライブをダブルクリックまたは右クリックして、**[選択]** を選択し、**[選択されたドライブ]** にドライブの写真、タイプ、詳細を表示します。
 14. ツールバーで **[セーブ]** をクリックします。デバイスが追加され、**[デバイス]** タブにリスト表示されます。デバイスが初期化されると、ステータスがオンラインに変わります。



15. [デバイス]タブで、仮想単体ドライブを右クリックし、[プロパティ]を選択してメディアにラベル付けを行います。[メディア・プロパティ]ウィンドウが表示されます。
16. 以下のパラメータを設定します。

- [メディア・ラベル] – NVBU では、メディアの 2 つのデフォルト・ラベルである、メディア・バーコードとシステム生成文字列 (NVBU サーバ名、日付、およびシード番号) を提供しています。これらの 1 つをメディア・ラベルとして割り当てるには、[メディア・ラベル] リストからこれらのいずれか 1 つを選択します。ユーザ定義ラベルを割り当てるには、ボックス内に文字列を入力します。

詳しくは、http://www.bakbone.co.jp/support/product_documentation.html からアクセスできる『NetVault Backup アドミニストレーターズ・ガイド』の「仮想単体ドライブ」のセクションを参照してください。

Linux で新規カートリッジまたはリムーバブル・メディアを追加する

NVBU 仮想単体ドライブが設定されて仮想メディアがすべて使用済みの状態になると、新規のリムーバブル・ストレージ・メディアに別の仮想メディアを作成する必要性が出てくる場合があります。別の仮想メディアを作成するには、使用する新規の物理メディア (リムーバブル HDD) を初期化する必要があります。新規の物理メディアを初期化するには、以下の手順を実行します。

1. リムーバブル・ストレージ・メディアを交換する前に、仮想単体ドライブをオフラインにします。NVBU コンソールで、ツールバーまたは [大きなボタン] パネルの [デバイス管理] をクリックして、[NVBU デバイス管理] ウィンドウを表示させます。または、[管理] メニューで、[デバイス管理] をクリックします。
2. [デバイス] タブで、仮想単体ドライブを右クリックして [オフライン] を選択します。

3. 仮想単体ドライブがオフラインになった後、Linux の `eject` または `umount` コマンドを使用して、物理的にリムーバブル・デバイスをアンロードし、新規の物理メディアを挿入します。
4. 物理データ・メディアやカートリッジを初めて使用する場合は、以下の手順を実行します。
 - a. **Linux ターミナル・セッション**を起動し、`fdisk` などのコマンドを使用して物理データ・メディアやカートリッジ・ドライブを初期化します。
 - b. `makefs` などのコマンドを使用して Linux でマウントする場合に適切な物理データ・メディアやカートリッジ・ドライブに、Linux ファイル・システムを作成します。
5. **Linux ターミナル・セッション**を起動し、`mount` などのコマンドを使用して新規の物理データ・メディアやカートリッジをマウントします。
6. Linux の `ls` コマンドを使用し、NVBU 仮想単体ドライブの名前が付いているフォルダと NVBU メディア・ファイルが、リムーバブル・ストレージ・デバイスの下に**存在しない**ことを確認します。
7. `mkdir` コマンドを使用し、リムーバブル・ストレージ・デバイスの下に新規に作成された NVBU 仮想単体ドライブの名前が付いたフォルダを作成します。(例: `# mkdir /media/disk/NewDrive`)
8. 「[Removable Storage Virtual Drive Creation Utilityの例](#)」に記載されているスクリプト例を使用して、Removable Storage Virtual Drive Creation Utilityを作成します。
9. Removable Storage Virtual Drive Creation Utility を NVBU サーバのディレクトリ (.../NetVault Backup/config など)にコピーし、シェル・スクリプトを実行します。

```
How big in gigabytes do you want each virtual tape to be?
(Select 20, 40, 100, etc followed by [ENTER])

10

Creating media file /media/disk/NewDrive/tape_10_08_10_1532 (10737418240 bytes)...
 2126512128 of 10737418240 bytes written (19%)...
 2634022912 of 10737418240 bytes written (24%)...
 3113222144 of 10737418240 bytes written (28%)...
 3649044480 of 10737418240 bytes written (33%)...
 4169138176 of 10737418240 bytes written (38%)...
 4701814784 of 10737418240 bytes written (43%)...
 5205131264 of 10737418240 bytes written (48%)...
 5758779392 of 10737418240 bytes written (53%)...
 6340739072 of 10737418240 bytes written (59%)...
 6882852864 of 10737418240 bytes written (64%)...
 7457472512 of 10737418240 bytes written (69%)...
 8032092160 of 10737418240 bytes written (74%)...
 8605663232 of 10737418240 bytes written (80%)...
 9202302976 of 10737418240 bytes written (85%)...
 9804185600 of 10737418240 bytes written (91%)...
10206838784 of 10737418240 bytes written (95%)... done
[root@dq5 config]#
```

注意: Removable Storage Virtual Drive Creation Utilityを複数回実行しないよう注意してください。複数回実行すると、仮想単体ドライブはオンラインで使用できなくなります。詳しくは、「トラブルシューティング」セクションの「[ユーティリティの実行後、NVBU仮想単体ドライブがオンラインで使用できない現象](#)」を参照してください。

- Linux の `ls` コマンドを使用し、このスクリプトにより、リムーバブル・ストレージ・デバイスの下に仮想単体ドライブの[メディアの容量(MB)]に一致する NVBU メディア・ファイルが作成されたことを確認してください。新規のメディア・ファイルは、以下の形式です。

```
tape_<month>_<day>_<year>_<time>
```

10. NVBU コンソールで、ツールバーまたは[大きなボタン]パネルの[デバイス管理]をクリックして、[NVBU デバイス管理] ウィンドウを表示させます。または、[管理]メニューで、[デバイス管理]をクリックします。
11. [デバイス]タブで、仮想単体ドライブを右クリックして[オンライン]を選択します。ドライブはブランク・メディアがロードされていることを示します。
12. 仮想単体ドライブを右クリックし、[プロパティ]を選択してメディアにラベル付けを行います。[メディア・プロパティ]ウィンドウが表示されます。
13. 以下のパラメータを設定します。
 - [メディア・ラベル] – NVBU では、メディアの 2 つのデフォルト・ラベルである、メディア・バーコードとシステム生成文字列 (NVBU サーバ名、日付、およびシード番号) を提供しています。これらの 1 つをメディア・ラベルとして割り当てるには、[メディア・ラベル] リストからこれらのいずれか 1 つを選択します。ユーザ定義ラベルを割り当てるには、ボックス内に文字列を入力します。

Linuxでオフライン・メディアからバックアップをリストアする

オフライン・メディアからバックアップをリストアするには、以下の手順を実行します。

1. 現在のリムーバブル・ストレージ・メディアをオフライン・メディアに交換する前に、仮想単体ドライブをオフラインにします。NVBU コンソールで、ツールバーまたは[大きなボタン]パネルの[デバイス管理]をクリックして、[NVBU デバイス管理] ウィンドウを表示させます。または、[管理]メニューで、[デバイス管理]をクリックします。
2. [デバイス]タブで、仮想単体ドライブを右クリックして[オフライン]を選択します。
3. 仮想単体ドライブがオフラインになった後、物理的に現在のリムーバブル・デバイスをアンロードし、リストアするバックアップが保存されているオフラインの物理メディアを挿入します。
4. Linux ターミナル・セッションを起動し、mount などのコマンドを使用して物理データ・メディアやカートリッジをマウントします。
5. [デバイス]タブで、仮想単体ドライブを右クリックして[オンライン]を選択します。ドライブはリストアするバックアップが保存されているメディアがロードされていることを示します。
6. [デバイス]タブで、仮想単体ドライブを右クリックして[チェック]を選択します。
7. 物理メディアがロードされた後、[デバイス管理]ウィンドウで、[メディア・ラベル]を有効にした正しい物理メディアが期待どおりにロードされたことを確認します。[メディア・ラベル]は、[デバイス]タブの仮想単体ドライブの隣りに表示されます。
8. 場合によっては、メディアをスキャンする必要があります。スキャンが必要な場合、[デバイス]タブで、仮想単体ドライブを右クリックして[スキャン]を選択します。

トラブルシューティング

Removable Storage Virtual Drive Creation Utilityの実行が失敗する現象

考えられる原因: バッチ・スクリプトで NVBU 仮想単体ドライブの場所を検索することができない。

解決策:

1. ... \NetVault Backup \config (Windows) または \$NV_HOME / config (Linux) のディレクトリにある diskdevices.cfg ファイルを検証し、NVBU 仮想単体ドライブが存在すること、および drives エントリに location の値があることを確認します。

2. NVBU仮想単体ドライブが作成されていない場合、「[WindowsでデバイスをNVBUに追加する](#)」または「[LinuxでデバイスをNVBUに追加する](#)」の説明に従って、NVBU仮想単体ドライブを追加します。
3. 手順 1 を繰り返します。

ユーティリティの実行後、NVBU仮想単体ドライブがオンラインで使用できない現象

考えられる原因: 複数のメディア・ファイルが存在している可能性がある。

解決策:

1. **Windows エクスプローラ** または Linux の **ls** コマンドを使用して、リムーバブル・ストレージ・デバイスに存在するメディア・ファイルのエントリ数が 1 つであることを確認します。
2. 複数のメディア・ファイルのエントリが存在する場合、対象になる物理メディアに一致するメディア・ファイルのエントリを除いて、すべてのメディア・ファイルを別のボリュームにコピーします。次に、対象になる物理メディアに一致するメディア・ファイルを除いて、すべてのメディア・ファイルをリムーバブル・ストレージ・デバイスから削除します。
3. NVBU コンソールで、ツールバーまたは**[大きなボタン]**パネルの**[デバイス管理]** をクリックして、**[NVBU デバイス管理]** ウィンドウを表示させます。または、**[管理]**メニューで、**[デバイス管理]** をクリックします。
4. **[デバイス]** タブで、仮想単体ドライブを右クリックして**[オンライン]** を選択します。
5. **[デバイス]** タブで、仮想単体ドライブを右クリックして**[チェック]** を選択します。

NVBUのVTL容量がライセンス容量を超過した場合

考えられる原因: 複数のメディア・ファイルが存在し、現在ライセンスを取得しているメディア容量を使い果たしている可能性がある。

解決策:

1. 追加で NVBU の VTL 容量に対してライセンスを申請します。
2. BakBoneの以下のサイトにアクセスし、追加のNVBUのVTL容量を含む新規の製品ライセンス・キーを申請します。
http://www.bakbone.co.jp/support/product_licensing.html
3. ライセンスの取得が完了したら、操作を再開します。

Removable Storage Virtual Drive Creation Utilityの例

Removable Storage Virtual Drive Creation Utility を作成する場合、以下の条件を確認してください。

- Removable Storage Virtual Drive Creation Utility (Windows) は、Windows 版の NVBU サーバ用に書かれた DOS のバッチ・ファイルです。設定されている仮想単体ドライブの数は 1 つであることが前提となっています。このため、複数の仮想単体ドライブを使用する環境では、ユーティリティを変更する必要があります。ユーティリティの変更について詳しくは、製品をご購入いただいた NetVault 販売代理店にお問い合わせください。
- NVBU 仮想単体ドライブは既に存在する必要があります。diskdevices.cfg ファイルには、ドライブの **location** エントリが記載されている必要があります。
- 仮想単体ドライブがオフラインになっていること、およびこのユーティリティを実行する前に、ブランクのリムーバブル・ストレージ・メディアがロードされていることを確認します。

Windows バッチ・ファイルの例

```
@echo off
REM
REM Script that pulls the drive location out of diskdevices.cfg and
REM recreates the directory and media contained within using nvmakemedia
REM
REM This script is intended to be used with a single removable (usb)
REM stand alone tape drive
REM
REM Created by BakBone Solution Architect group
REM
:input
cls
echo *****
echo  BakBone Removable Storage Virtual Drive Creation Utility
echo  *****
echo.
echo.
set INPUT=
set /P INPUT=How large in gigabytes would you like to create your virtual
tape?: %=%
if "%INPUT%"==" " goto input
echo.
echo.
echo Created
echo.
sc qc "NetVault Process Manager" | find "BINARY_PATH_NAME" > testfile.txt
set /p nvhome= < testfile.txt
del testfile.txt
set nvhome=%nvhome:~30%
set nvhome=%nvhome:~0,-23%
set nvhome=%nvhome:/=^\%
cd %nvhome%config
For /F %i in (diskdevices.cfg) do @echo %i | find "location=" >
testfile.txt
set /p tapedir= < testfile.txt
del testfile.txt
set tapedir=%tapedir:~9%
md %tapedir%
for /f "tokens=2,3,4 delims=/ " %a in ('DATE /T') do set date=%a_%b_%c
for /f "tokens=1,2,3 delims=: " %a in ('TIME /T') do set time=%a_%b_%c
"%nvhome%\util\nvmakemedia.exe" %INPUT%g mediafiles "%tapedir:~0,-
1%\tape_%date%_%time%"
```



Linuxシェル・スクリプトの例

```
#!/bin/sh

# Script that pulls the drive location out of diskdevices.cfg and
# recreates the directory and media contained within using nvmakemedia
#
# This script is intended to be used with a single removable (usb)
# stand alone tape drive
#
# Created by BakBone Solution Architect group
#

NV_HOME=`head -n -1 /etc/.nv6_home`

clear
echo ""
echo "*****"
echo " BakBone Removable Storage Virtual Drive Creation Utility      "
echo "*****"
echo ""
echo ""
echo "How big in gigabytes do you want each virtual tape to be?"
echo "(Select 20, 40, 100, etc followed by [ENTER])"
echo ""
read virt_tape
echo ""

DRIVE_LOCATION_FULL=$(cat $NV_HOME/config/diskdevices.cfg | sed -n
'\/[drives\]/ {n;p}')
DRIVE_LOCATION=${DRIVE_LOCATION_FULL:9}

NOW_DATE=$(date +%m_%d_%y_%H%M)

$NV_HOME/util/nvmakemedia "$virt_tape"g mediafiles
""$DRIVE_LOCATION"/tape_"$NOW_DATE""
```